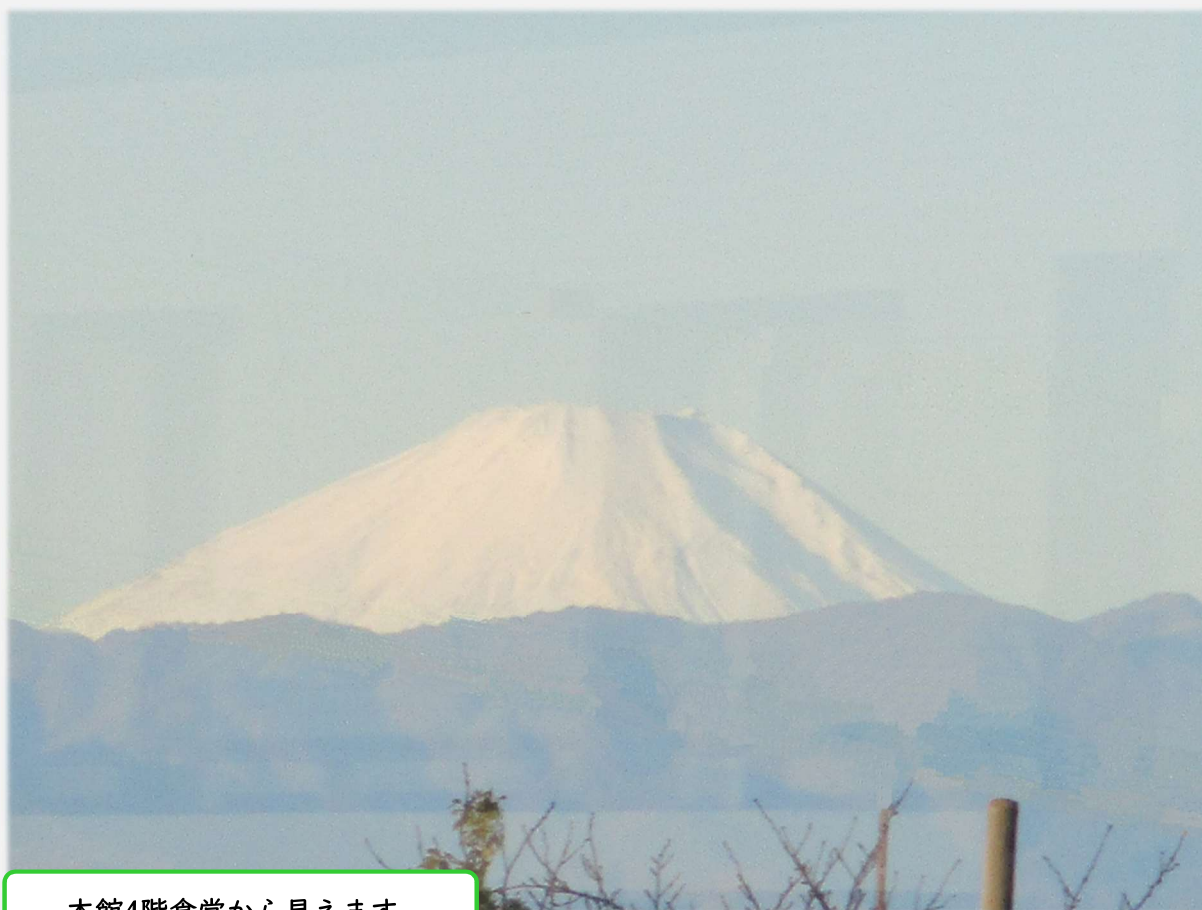
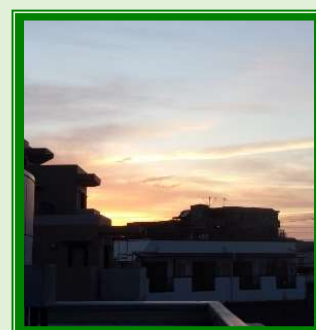


ひびき



本館4階食堂から見えます

新年の挨拶



新年初日の出
本館屋上より

謹んで新春のお慶びを申し上げます

皆様には新しい年を健やかにお迎えのことと存じます

理事長 小林 信正

今年の幕開けも、穏やかな晴天に恵まれ、初日の出も見事なものでしたが、能登半島での地震や羽田空港での飛行機事故の報道が入り、びつくりするとともに、関係者の方々の努力により、一日も早く平穏になることを願うのみです。
しかしながら、お陰様で響会は、順調に二十六年目を迎えることができました。ひとえに皆様のご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

今年は利用者様の居室のリニューアル工事を行うとともに、外国籍の介護職員の採用も行う予定であります。
今後も『安心と暖かさ』の提供に努力するとともに、毎日を大切にしながら研鑽に励み、介護の質の向上に努めてまいりますので、一層のご指導とご協力を、お願い申し上げます。

令和 六年 一月

響会広報誌

第80号

令和 6 年 1 月
(年 4 回 発行)



ひびきほっとサロン

令和5年11月19日(日)に、令和5年度第3回『ひびきほっとサロン』を、嶺町地区で初めてシニアステーション東嶺町で開催しました。
今回は職員4名による「bel suono～美しい響き～」を演奏しました。大変好評で次の演奏を期待する声をお寄せいただきました。



ボランティアの皆様

いつもボランティアの皆様にはご尽力いただき、ありがとうございます。5月にコロナウイルスは5類へ移行されましたが、私達福祉施設ではまだまだ感染症対策が必要です。皆さまにお集まりいただく懇親会は状況を鑑み、今年度も中止とさせていただきますが、私達からの感謝の気持ちを昨年同様に各部署よりお届けしたいと考えております。詳しくは改めてお知らせを致します。

ベルマーク

地域の小学校の活動に協力しています。
(玄関ホールに回収BOX設置)



工事のお知らせ

昨年8月より施工しておりました

- ・換気設備更新工事
- ・厨房床工事

は、昨年11月に無事終了致しました。ご協力ありがとうございました。

来年度(令和6年度)は、本新館の壁・床を中心に工事をすすめていく予定です。



スリッパ用滅菌庫設置しました

好日苑正面玄関に新しく設置しました。ご来苑の際はご利用ください。



好日苑お正月メニュー



1月1日



おせち盛り合わせ

1月2日



お刺身盛り合わせ(鮪と鰯と帆立)

1月3日



ビーフシチュー

本館合同家族会

昨年11月に本館開設から初めて本館家族会を開催致しました。新型コロナウイルスの影響により、ご家族様には長い間面会制限にご協力いただいております。利用者様の様子が少しでもお伝えできればと、スライドを使って説明し、また、現在導入中の次世代介護機器もご紹介致しました。

終了後はご家族様にアンケートをご記入いただき、殆どの方から『様子が理解できた』との声が寄せられています。今後も定期的な開催を目指し、皆さまの安心に繋げていきたいと思っております。



(お正月の好日苑杯より)

特別養護老人ホーム
好日苑

次世代介護機器の導入

現在、好日苑では、3台の次世代介護機器を導入。利用者様の自立支援・職員介護負担軽減を目的とし、双方にやさしい介護を目指しています。



商品名：ハグ

サラフレックスと同様です
本館家族会でご紹介しました



商品名：サスケ
お姫様抱っこで対応できます



商品名：サラフレックス
移乗の介助に対応できます

例えば、2人の職員で行っていたトイレ介助は、職員2人が揃うまで利用者様をお待たせしてしまうこともしばしばありましたが、職員1人が対応できることで、タイムリーなニーズに応えられます。また、2人のうち、もう1人の職員は、他利用者様の対応にあたることができます。これからも適切な活用をしていくために、毎月次世代介護機器実践チーム(NGCT)により評価していきます。



2024年もよろしく申し上げます



【令和5年度スタートにあたり】 (事業計画より抜粋)

住み慣れた地域で、自立した生活と「安心と暖かさ」を感じ取れる生活をし続けていただく為に【好日苑多機能型居宅介護】と称して、響会方程式を駆使した日常生活支援を「通い」「訪問」「宿泊」サービスを組み合わせ、また、馴染みある職員が横断的・一体的にサービス提供を行うことを土台にして、環境の変化がなく安心感を持った在宅生活をし続けていただく一翼になれるよう、努めていきます。



近隣のグローバルキッズ上池台園に通う子ども達にダンスを披露していただきました



12月 イベント食&リース制作



【令和5年度スタートにあたり】 (事業計画より抜粋)

住み慣れた地域で、自立した生活と「安心と暖かさ」を感じ取れる生活をし続けていただく為にケアプランセンターの介護支援専門員が【好日苑多機能型居宅介護】の考え(※響会方程式を駆使した日常生活支援を「訪問」「通い」「宿泊」サービスを組み合わせ、また、馴染みある職員が横断的・一体的にサービス提供を行うことを土台にして、環境の変化がなく安心感を持った在宅生活をし続けていただく一翼になる)を駆使した、居宅サービス計画を作成していきます。



(20240101職員撮影)

好日苑
ケアプランセンター

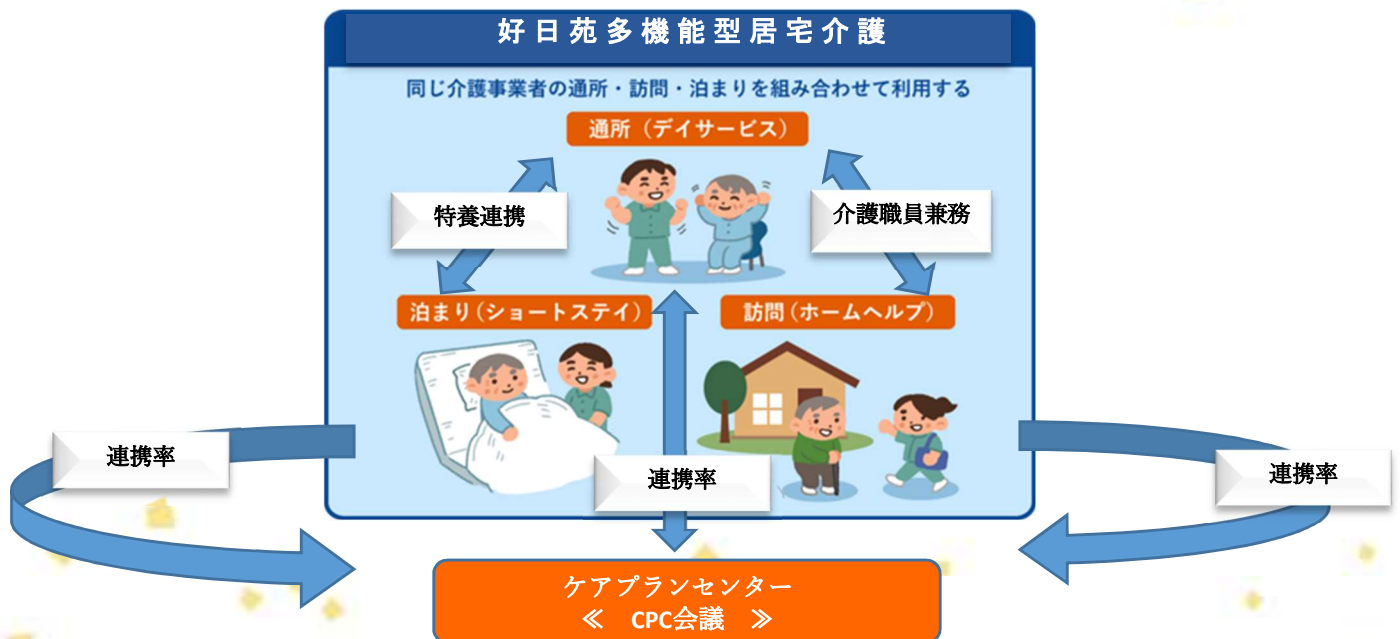
好日苑ケアプランセンター 新年の抱負

自分時間をつくる。必ずつくる。少しでもつくる。そして笑う。

暴飲暴食をしない。早寝早起き。

整理整頓、物を少なく、スッキリさせる！

本を読んで、心を落ち着かせる時間をつくる。



【令和5年度スタートにあたり】 (事業計画より抜粋)

住み慣れた地域で、自立した生活と「安心と暖かさ」を感じ取れる生活をし続けていただく為に【好日苑多機能型居宅介護】と称して、響会方程式を駆使した日常生活支援を「訪問」「通い」「宿泊」サービスを組み合わせ、また、馴染みある職員が横断的・一体的にサービス提供を行うことを土台にして、環境の変化がなく安心感を持った在宅生活をし続けていただく一翼になれるよう努めていきます。



(画：職員)

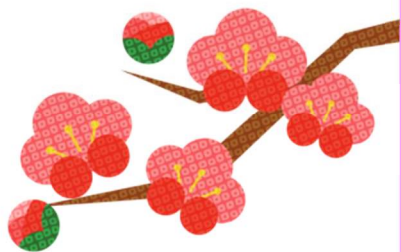
好日苑
ヘルパーステーション

好日苑ヘルパーステーション 新年の抱負

みんなで心身ともに健康に過ごし、

そして、目標タツ(辰)成！

支援センター



- ・ 六郷 ・ 西六郷 ・ 上池台
- ・ 嶺町 / シニアステーション東嶺町
- ・ 馬込 / シニアステーション馬込
- ・ 南馬込 / シニアステーション南馬込

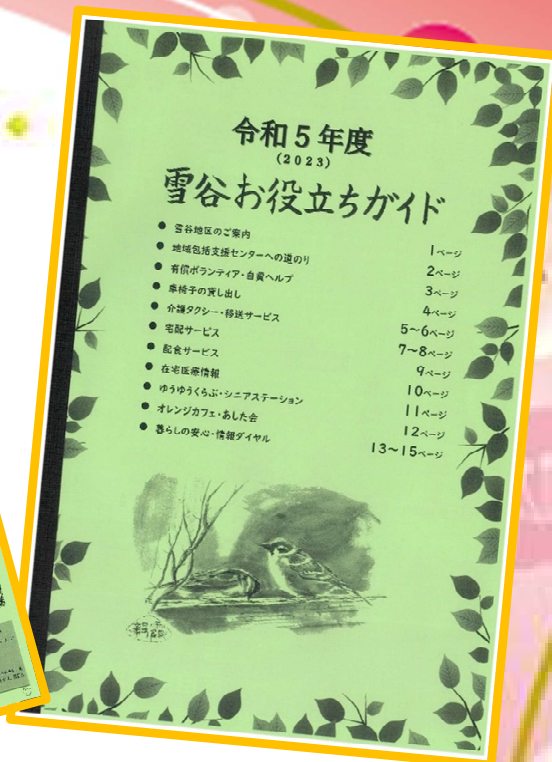


利用者様の水墨画

雪谷お役立ちガイド

公共機関の連絡先をはじめ、宅配弁当やタクシー会社等の詳細をまとめた、お役立ち帳です！

他にも車椅子レンタルについて、シニアステーションのことも記載しています♪



雪谷地域連携懇談会

雪谷地区の民生委員・児童委員・医療介護従事者や福祉行政職員が集まり、「**独居高齢者**」「**家族に関する問題**」について話し合いました♪



グループで意見交換を行いつつ、互いに親睦を深めました♪

活動紹介

地域包括支援センター上池台

認知症サポーター養成講座

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、認知症やその家族に対して出来る範囲内で手助けをする
「認知症サポーター」の養成に取り組んでいます！

認知症サポーターを養成することで認知症の方やその家族が暮らしやすい地域を作る事に取り組んでいます♪



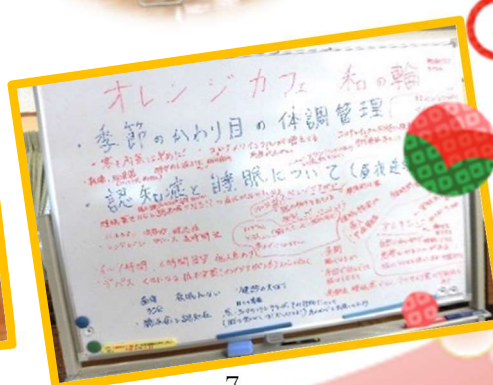
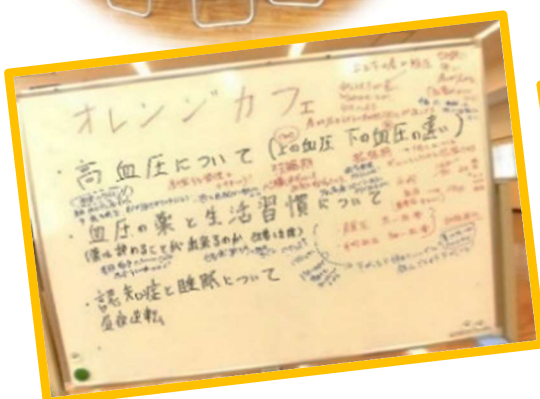
オレンジカフェ 和の輪

認知症と診断を受けた方やその家族、認知症に関心のある方が月に一度集い、茶話会を楽しんでいます！

認知症サポーター医である伊丹先生も茶話会に参加して意見交換を行ってくださいます♪

会の後半は体操や講座、体験会など月替わりのちょこっとプログラムを実施しています！

和の輪イメージキャラクター
wanowaちゃん



上池台

経験を活かしていきたい
特別養護老人ホーム好日苑 須藤 岳



福祉の道に進んだきっかけ

大学卒業後は人と関わる仕事がしたいと考えていました。ヘルパーとして働いている母から話を聞き福祉に興味を持ちました。福祉学部ではなかったのですが、大学在籍時に介護職員初任者研修を受講。卒業後は有料老人ホームへ就職し3年3ヶ月勤めました。

有料老人ホームから好日苑へ

別の施設でも働いてみたいと思い、有料老人ホームでの退職を決めました。転職活動の情報は主に施設のホームページですが、当時好日苑では、入職のために引っ越しを検討している人への支援金制度があり、ちょうど横浜市の実家から出て一人暮らしを考えていたので、この制度に魅力を感じ好日苑へ応募しました。好日苑入職後は、ユニット型の新館へ配属されました。入居者様は認知症の方が多く、自立した生活を送られている方が殆どの有料老人ホームとは全くの別世界でした。また、特養(特別養護老人ホーム略称)の業務はとて慌ただしいとも感じました。前職の方が入居者様の人数は多かったですけど、ご自分で身の周りのことが出来ていたからでしょうか。慌ただしいと感じたことはありません。時間を気にして、時間に追われ、何かをしながら何かをするという複数介助に入職当初は驚き、今までの経験が活かせるとは思えませんでした。殆ど経験したことがない重度の方の身体介助は、教わるたび新鮮で、日々繰り返される介助により技術を身につけることができました。特養は本当にたくさんの介護の場面を知ることができ、介護者にとってはとても勉強させていただける場所だと実感しています。

ショートステイユニットを経験して

今は新館3階のユニットリーダーとして従事していますが、入職してから2階→1階→3階とユニット異動をしています。1階はショートステイ専用のユニットでしたが、異動のお話をいただいた時は、ショートステイ自体がよくわからず、覚えることばかりで大変苦労しました。

ショートステイではご自宅への送迎業務があります。ご自宅へ伺う機会が増えると、利用者様の在宅での暮らしというところが少しですが見えてきます。例えば、段差があり設備や道具も施設ほど充実していないご自宅では、今の利用者様の状態で暮らしを継続できるよう、ショートステイ利用時の体調管理も重要です。転んで怪我をしてしまうと、介助が必要となった場合、ご自宅での暮らしが変わってしまうこともあるため、

(2017年7月 入職)

短い期間で関わる利用者様を入所時と同じ状態でしっかりと送り届けなければ!と、いう思いが強くなりました。また、上司の「ショートステイ利用中におみやげを持ち帰ってもらう」という言葉がとても印象にあります。在宅生活を送る上で、介護士としての視点・ケアの方法やほっこりするエピソードなどをおみやげと呼んでいます。ご家族様にしっかりと伝えられるよう意識しています。そのように関わっているショートステイの利用者様が特養へ入居されると、素直に好日苑を選んでくれて嬉しいな~と思います。

気持ちの変化

副主任のお話をいただく前に、介護士としてのステップアップをと、退職を上司へ相談していたのですが、他職員の退職に伴い、副主任(当時のユニットリーダー)への昇格のお話をいただきました。副主任という役職に付くことで、新しい発見があるかもしれない、仕事の幅が広がるかもしれない、と心境が変わり、副主任職を受け、今に至っています。一般職以上に責任のある役職ですが、リーダーとしてチームを作っていくことにとてもやりがいを感じています。自分よりも介護経験がある方、年上の方、社会経験豊かな方々の上に立ちリーダーシップを取っていくのは...と、難しく考えてしまうこともありますが、リーダーだからと気負うことなく伸び伸びやらせてもらっていますし、リーダーとして考えるべきことが増えても、考えることで視野も広がり、前よりも行動力や積極性が出たと実感しています。また、体調を悪くし短期間で2回入院したことがありますが、入退院からの復職は、自分が想像していた以上にストレスがかかっていたと、後になって気づきました。頑張ってたれて弱って病気になってしまふのであれば、一人で頑張りすぎなくてもよいのかな?と。気持ちに変化が生まれたのは病気を経験したお陰です。あと、入院してベッドで寝たきりでいる辛さや、管理をされている排泄の恥ずかしさなど、少しですが利用者様の気持ちがわかりました。

Qどんな支援者になりたいですか?

働き始めてから変わらずに思っていますが、どんな立場になっても、お客様である入居者様にしっかりと寄り添う、お客様に耳を傾けられる職員でいたいです。

表紙のことば

2024年1月1日の富士山です。よく見えるので、利用者様は富士山に向かって手を合わせ拝まれます。

ホームページも是非ご覧ください



心の小箱
をご活用下さい

(玄関ホール)
ご意見・ご要望・お気づきの点などお気軽にお寄せ下さい

